

1. 履修及び論文審査等について

(1) 履修登録手続き

履修登録は在学中に履修する科目を登録する極めて重要な手続きであるため、「大学院学修要項（シラバス）」を熟読し、当該年度の開講科目を確認したうえで履修計画を立て、所定期間内に登録手続きを必ず行うこと。

①Web 履修登録

履修登録は Web 上で、4 月の定められた期間に通年・前期・後期科目全ての登録を行う。大学ホームページから、訪問者別メニュー「在学生の方」をクリックし、「Web 教学システム」より登録を行う。Web 教学システムの操作方法については、掲示等を参照すること。

②Web 履修登録期間

4 月 8 日（火）9：00～4 月 11 日（金）24：00

Web 教学システム稼働時間は、9:00～24:00 の間である。期間中であれば何度でも変更可能である。履修登録期間の終わりにかけてはアクセス集中により、繋がりにくい場合があるため、早めに履修登録を行うこと。

③履修変更期間

選択科目の履修変更を行う場合は、白金キャンパス大学事務室教務課窓口に履修変更届を提出し、当該科目の放棄・変更、または追加を行うことができる。

前期履修変更期間：4 月 17 日（木）～4 月 18 日（金）（通年・前期・後期科目）

後期履修変更期間：9 月 16 日（火）～9 月 17 日（水）（通年・後期科目）

④履修登録時の注意点

- ・同一時限に 2 科目重複して履修することはできない。
- ・同一名称の科目は、教員が異なっても履修することはできない。
- ・年間の履修登録単位数は、50 単位未満とする。
- ・履修登録していない授業科目以外の受講、試験受験は「無効」である。
- ・履修登録をしても、出席不良や試験を受験しなかった場合は「不合格」となることがある。

(2) 成績評価について

評価は優、良、可、不可の 4 種をもって表し、優・良・可を合格、不可は不合格とする。

(3) 研究計画書の提出について

初年度に、研究計画書（①研究テーマ・内容、②講義科目履修計画、③論文提出時期、④学会発表計画、⑤論文投稿計画）について、指導教員へ確認の上作成すること。

なお、計画書の見直しが必要な場合は指導教員へ相談し、計画書を修正すること。

(4) 修了要件について

【修士課程】

薬学研究科修士課程において履修すべき 32 単位以上は、次の組み合わせにより履修すべきものとする。

薬科学履修コース

- イ 専攻した専門分野の主科目講義（指導教授が担当する特論講義） 1 科目 2 単位
- ロ その他の主科目講義から 4 科目 8 単位以上
- ハ 主科目演習は 1 科目 4 単位
- ニ 主科目特別実験は 16 単位
- ホ 専攻共通科目から 2 単位

臨床統計学履修コース

- イ 主科目講義は臨床統計学特論Ⅰ、臨床統計学特論Ⅱ、臨床統計学特論Ⅲの 3 科目 12 単位
- ロ 主科目演習は臨床統計学演習Ⅰ、臨床統計学演習Ⅱの 2 科目 8 単位
- ハ 主科目実習は臨床統計学実習、臨床統計学総合実習の 2 科目 10 単位
- ニ 専攻共通科目から 2 単位

医薬開発学履修コース

- イ 主科目講義は医薬開発学特論Ⅰ、医薬開発学特論Ⅱ、医薬開発学特論Ⅲの 3 科目 12 単位
- ロ 主科目演習は医薬開発学演習Ⅰ、医薬開発学演習Ⅱの 2 科目 8 単位
- ハ 主科目実習は医薬開発学実習、医薬開発学総合実習の 2 科目 10 単位
- ニ 専攻共通科目から 2 単位

なお、薬科学履修コースは、その他指導教授が研究上特に必要と認めた場合には、前項にかかわらず他の研究科又は基礎学部の課程による授業科目及び他の大学院の課程による授業科目を 8 単位以内選択履修させることができる。ただし、神奈川県内大学院の学术交流協定に関わる科目又は本学他研究科の授業科目は、1 科目 2 単位のみ修了要件単位（その他の主科目講義）に含める。また、臨床統計学履修コース及び医薬開発学履修コースは、自由科目として取扱うこととし、修了要件単位に含めない。

【博士後期課程】

薬学研究科博士後期課程薬科学専攻薬科学履修コース、臨床統計学履修コース、医薬開発学履修コースにおいて履修すべき 10 単位以上は、次の組み合わせにより履修するものとする。

- (1) 専攻した専門分野の主科目特別講義 1 科目 2 単位以上
- (2) 専攻した専門分野の主科目特別演習 1 科目 3 単位
- (3) 専攻した専門分野の主科目特別研究 1 科目 5 単位

なお、他の研究科又は基礎学部の課程による授業科目及び他の大学院の課程による授業科目は、自由科目として取扱うこととし、修了要件単位に含めない。

※下線は 2022 年度以降入学生へ適用。

【博士課程】

薬学研究科博士課程薬学専攻薬学履修コースにおいて履修すべき 30 単位以上は、次の組み合わせにより履修するものとする。

- (1) 専攻した専門分野の主科目特別講義（指導教授が担当する特別講義） 1 科目 2 単位
- (2) その他の主科目特別講義から 4 科目 8 単位以上
- (3) 専攻した専門分野の主科目特別演習 1 科目 5 単位
- (4) 専攻した専門分野の主科目特別研究 1 科目 15 単位

なお、その他指導教授が研究上特に必要と認めた場合には、前項にかかわらず他の研究科又は基礎

学部の課程による授業科目及び他の大学院の課程による授業科目を8単位以内選択履修させることができる。ただし、神奈川県内大学院の学術交流協定に関わる科目又は本学他研究科の授業科目は、1科目2単位のみ修了要件単位（その他の主科目講義）に含める。

（5）論文審査について

【修士課程】

修士課程2年間の研究を修士論文にまとめ、2月下旬に実施される修士論文発表会で口頭発表し、論文審査員（主査1名、副査2名）による論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。

【博士後期課程・博士課程】

博士後期課程3年間、博士課程は4年間の研究を博士論文にまとめ、11月下旬～12月上旬に実施される予備審査会で口頭発表し、論文審査員（主査1名、副査3名）による論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。

（6）早期修了要件について

【博士後期課程】2年次

在学期間の定めとは別に、次の申請条件を満たしていれば博士課程2年次在籍の学生が学位を申請できる制度を1995（平成7）年度から発足させた。これは優れた研究業績を上げた者については、学則に基づき博士後期課程の在学期間を短縮できる道を開いたものである。

- ・申請条件 ① ファーストオーサーである論文（欧文）3報以上
② ファーストオーサーである論文3報のインパクトファクターの合計が10以上
- ・審査方法 ① 12月末日までに上記申請条件を満たせば1月に申請できる。
② 申請があった場合は1月中旬までに公開の論文発表会を実施する。
③ 公開論文発表会は発表時間30分、質疑応答60分以上行う。
④ ③終了後は通常の博士課程審査方法と同じ方法により審査する。

【博士課程】3年次

在学期間の定めとは別に、次の申請条件を満たしていれば博士課程3年次在籍の学生が学位を申請できる制度を1995（平成7）年度から発足させた。これは優れた研究業績を上げた者については、学則に基づき博士課程の在学期間を短縮できる道を開いたものである。

- ・申請条件 ① ファーストオーサーである論文（欧文）1報以上
- ・審査方法 ① 10月末日までに上記申請条件を満たせば1月に申請できる。
② 申請があった場合は1月中旬までに公開の論文発表会を実施する。
③ 公開論文発表会は発表時間30分、質疑応答60分以上行う。
④ ③終了後は通常の博士課程審査方法と同じ方法により審査する。

（7）研究倫理に関する教育について

本学研究科では、学生の研究者倫理に関する規範意識を徹底していくため、学生に対する研究倫理教育の実施をしている。全ての大学院生は、「一般財団法人公正研究推進協会（APRIN）」が提供する「研究者行動規範教育 e-learning プログラム」を在学中に受講しなければならない。

なお、修士課程は課程修了要件、博士課程は学位論文提出要件〔北里大学大学院薬学研究科課

程博士の学位に関する取扱内規第3条（学位授与の申請）に基づく] の1つとなっているので、必ず在学中にプログラムを受講し、受講証明書を提出すること。